

鹿児島救急医学会学術集会

日時 令和 6年 9 月 14 日 (土)

場所 鹿児島県医師会館 (鹿児島市中央町 8-1)

参加費 鹿児島救急医学会会員 1,000 円

鹿児島救急医学会非会員 (医師) 3,000 円

鹿児島救急医学会非会員 (医師以外) 2,000 円

初期臨床研修医、学生 (医学生・高校生等) 無料

参加申込 二次元コードから参加登録をお願いします

※会員種別を誤って登録・入金しないようご注意ください

※医師部会、三部会合同シンポジウムは Zoom 配信あり



問合せ先：鹿児島救急医学会事務局 電話 099-254-8121

E-mail isichiho@kagoshima.med.or.jp

1. 第 89 回医師部会 (14:15~16:00) 会場：3階中ホール1

一般演題

【I群】 (14:15~15:00)

I-1. 腹腔臓器並びに下肢虚血 B 型急性大動脈解離に対して緊急 TEVAR にて救命した症例

国立病院機構鹿児島医療センター 初期研修医 永山 貴大

I-2. Chain of survival が有効に機能して救命できた高 Ca 血症による QT 間隔短縮が原因の VF survivor の 1 症例

国立病院機構鹿児島医療センター 初期研修医 村橋 暁

I-3. 運動直後の失神及び呼吸停止に陥った若年者の閉塞性肥大型心筋症の 1 例

国立病院機構鹿児島医療センター 循環器内科 宇都宮 沙代

I-4. アナフィラキシーショック症状消失後に発症した Kounis 症候群Ⅲ型の 1 例

国立病院機構鹿児島医療センター 循環器内科 仲田 圭秀

I-5. 中学 1 次心臓検診で異常なしと判定され、倒錯型心室頻拍で発症した QT 延長症候群の 13 歳女子

鹿児島大学病院 小児科 高橋 宜宏

【II群】 (15:05~16:00)

II-1. EWS (Endobronchial Watanabe Spigot) による内視鏡下気管支充術と胸膜癒着療法にて治療した人工呼吸器管理中の難治性気胸

鹿児島市立病院 救命救急センター 宮原 和暉

Ⅱ-2. 上部消化管内視鏡検査中の空気塞栓症により心肺停止となった1例

鹿児島大学病院 救命救急センター 山下 翔太

Ⅱ-3. 南九州重度四肢トラウマバイパス構築後の現状

社会医療法人緑泉会 米盛病院 救急科 杉木 暖

Ⅱ-4. 初期臨床研修医が主体となって実施した緩和ケアの1例

鹿児島市立病院 救命救急センター 有馬 悠平

Ⅱ-5. 人工呼吸器の withdraw について～意思決定から緩和的抜管まで
当施設の取り組み～

鹿児島大学病院 救急・集中治療科 下野 謙慎

Ⅱ-6. 救急科所属の診療看護師は医師のタスク・シフト/シェアに貢献できるか

国立病院機構鹿児島医療センター 循環器内科 診療看護師 新坂 享子

2. 総会 (16:00～16:20) 会場：3階中ホール1

3. 第52回看護部会 (14:30～16:20) 会場：3階中ホール2

1) 一般演題

(1) 救急病棟ラダー導入による教育体制の構築

鹿児島市立病院 中野 ルミ子

(2) 能登半島地震における被災医療機関支援を通して

済生会川内病院 小林 香織

(3) 令和6年能登半島地震災害派遣における活動報告

国立病院機構鹿児島医療センター 中島 麻里

2) シンポジウム

テーマ：これからの災害支援・災害看護について

～能登半島地震災害支援におけるフェーズや環境の異なる活動を踏まえて～

(1) 日本医師会災害医療チーム (JMAT) 活動報告

- ・鹿児島県から第1陣として派遣された際の活動、支部機能立ち上げ等

今村総合病院 平川 あゆみ

- ・感染症が流行するなかでの災害支援活動・感染対策等

鹿児島市医師会病院 感染管理認定看護師 折田 富之

- ・輪島市門前総合支所でのミニ本部機能の継続と地域の医療ニーズへの対応等

医療法人青仁会 池田病院 竹下 和紀

- ・金沢以南における避難所訪問活動等

垂水中央病院 山口 博隆

(2) 災害支援ナースの役割・今後の対応等

出水総合医療センター 野末 佳秀

4. 第39回救急隊員部会（14：00～15：50）会場：4階大ホール

シンポジウム

◆コメンテーター：

鹿児島救急医学会理事・鹿児島市立病院救命救急センター 副センター長 高間 辰雄
福岡セントラル法律事務所 弁護士 福井 慎一郎

◆シンポジスト：

- 1) トラブル予防のための安全管理 鹿児島市消防局 中村 俊幸
- 2) 新型コロナウイルス感染症の救援活動前後の支障とメンタルヘルスに関する調査
始良市消防本部 上温湯 貴志
- 3) 精神疾患搬送困難事案について
南九州消防組合 中村 大樹
- 4) 精神疾患のある傷病者への対応
阿久根地区消防組合消防本部 杉原 修

※シンポジストの発表内容のほか、県内消防本部からの事前質問をもとにコメンテーターの福井弁護士とともにディスカッションを行う。

【県内消防本部からの事前質問】

- ・不搬送後に症状が悪化した場合の救急隊の法的責任について
- ・医療機関へ傷病者の受入照会を行った際に医療機関が付添い人を条件に受入するケースがあり、その付添い人の確保に関することについて
- ・救急車の現場到着が遅れたことで傷病者の症状が悪化した場合の法的責任について
- ・救急搬送後に傷病者が死亡した事案で、後日家族が救急隊の活動（観察、処置等）について照会（救急隊に面談希望）してきた場合の対応について
- ・救急搬送時の盗難等のトラブルについて
- ・医師の管理下に置かれている傷病者に対する特定行為について

5. 三部会合同シンポジウム（16：30～18：00）会場：4階大ホール

テーマ：病院前救護における取組み Up-To-Date

1) 救急活動における ICT 活用～映像通報システム～

- ・株式会社ドーン 東京テクノロジーセンター 品川 真尚
- ・大隅肝属地区消防組合 消防本部指令課 石塚 正太
- ・鹿児島市消防局 情報管理課 佐久間 美妃

2) ドクターカー・ドクターヘリにおける ICT 活用

- ・鹿児島市立病院救命救急センター 副センター長 高間 辰雄

3) 離島診療における ICT 活用～Join～（医療関係者間コミュニケーションアプリ）

- ・鹿児島赤十字病院 総合診療科 栗林 完

4) 脳卒中における新しい病院前評価法～LV0 scale について～

- ・日本脳卒中協会 鹿児島県副支部長 西牟田 洋介
（鹿児島市立病院脳卒中センター長・脳神経外科 部長）